

2025 年度 授業コード: 23107200

授業科目	国際栄養論					実務家教員担当科目	-				
単位	2	履修	選択	開講年次	4	開講時期	後期				
担当教員	藤和 太										
授業概要	世界は国際化が進み、健康や食文化もグローバル化し、健康と栄養問題がますます国際的に注目されるようになった。栄養管理が優れている日本は国際社会の一員として、ますますその貢献度が期待されている。食糧供給や栄養供給の問題は単に発展途上国のみならず、先進国でも重要である。日本は、先進国ながらも子供や高齢者の低栄養問題が最近取り上げられている。食糧自給がままならない日本にとっては、各国の食料供給や健康栄養制度について十分に認識する必要がある。本講では、各国の食文化や食生活について調査し、日本の和食文化と比較する。各国の食糧供給と健康栄養政策について解説し、日本の健康栄養政策の長所をどのように国際交流や国際協力に反映できるかを検討する。また、各国の食文化体験や国際保健栄養施設を見学することを通じて、栄養健康管理の国際的視点を養う。										
授業形態	対面授業				授業方法	毎回各国の栄養状態、栄養制度など一つの課題を調べて、プレゼンテーションを行い、PBL を活用する。					
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	1. 各国の食文化や食生活について調べ、日本の和食文化との違いを説明できる。(DP1-1) 2. 各国の食糧供給や健康栄養政策について理解し、日本の食料供給事情や健康栄養政策との違いを説明できる。(DP2-1) 3. 食文化体験や国際健康栄養施設の見学により、国際健康栄養の視点から国際栄養の問題点を説明できる。(DP3-1) 4. 栄養疫学論文など栄養情報を調べ、他人に説明できる。(DP4-2) 5. 健康栄養情報を調べ、保健福祉医療の学生と連携して、実践活動ができる。(DP5-1)										
理想的レベル	標準的レベル1～5を全て達成したうえで、栄養疫学知識を活かし、総説やメタ分析ができる。さらに国際栄養学的視点に立って、食糧の供給や健康栄養政策について問題点を捉え、問題改善への取り組みを実行できる。										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合(数値)				備考				
試験											
小テスト											
レポート											
発表(口頭、プレゼンテーション)			100								
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	NT32503J
学習課題(予習・復習)										1回の目安時間(時間)	
授業で示された参考文献などを調べ、疑問点などをまとめる。										4	

授業計画	
第1回	テーマ：日本人の栄養健康状態と政策 我が国の栄養健康状態の推移と栄養政策について概説する。
第2回	テーマ：国際栄養健康現状：保健医療分野の国際協力国際機関の取組について解説する。
第3回	テーマ：モンゴルの健康栄養状態と政策： 食糧供給と健康栄養政策、食文化と栄養摂取状況について調べる。
第4回	テーマ：中国の健康栄養状態と政策： 食糧供給と健康栄養政策、食文化と栄養摂取状況について調べる。
第5回	テーマ：韓国の健康栄養状態と政策： 食糧供給と健康栄養政策、食文化と栄養摂取状況について調べる。
第6回	テーマ：アメリカの健康栄養状態と政策： 食糧供給と健康栄養政策、食文化と栄養摂取状況について調べる。
第7回	テーマ：ブラジルの健康栄養状態と政策： 食糧供給と健康栄養政策、食文化と栄養摂取状況について調べる。
第8回	テーマ：イギリスの健康栄養状態と政策： 食糧供給と健康栄養政策、食文化と栄養摂取状況について調べる。
第9回	テーマ：フランスの健康栄養状態と政策： 食糧供給と健康栄養政策、食文化と栄養摂取状況について調べる。
第10回	テーマ：栄養分野の国際協力活動(1) JICA 九州で体験学習を行う
第11回	テーマ：栄養分野の国際協力活動(2) JICA 九州で体験学習のまとめを行う
第12回	テーマ：イタリアの健康栄養状態と政策： 食糧供給と健康栄養政策、食文化（地中海食）と栄養摂取状況について調べる。
第13回	テーマ：イランの健康栄養状態と政策： 食糧供給と健康栄養政策、食文化と栄養摂取状況について調べる。
第14回	テーマ：オーストラリアの健康栄養状態と政策： 食糧供給と健康栄養政策、食文化と栄養摂取状況について調べる。
第15回	まとめ：課題テーマについて調べた内容をまとめ、プレゼンテーションを行う。
テキスト	国際栄養学 建帛社 村山伸子 監修
参考図書・教材 ／データベース・雑誌等の紹介	国際保健医療学(第3版) 日本国際保健医療学会編 (杏林書院) わかりやすい EBN と栄養疫学 佐々木敏 同文書院
課題に対するフィ	発表の内容は、授業の中で指示する。 プレゼンテーションの成績で評価する。

ードバックの方法	
学生へのメッセージ・コメント	公衆衛生学、公衆栄養学、基礎栄養学、応用栄養学、臨床栄養学及び栄養疫学に関する知識を必要とする。 1. 新聞や雑誌に目を通し、国際的な視点で健康栄養問題の分析力を養うこと。 2. 図書館やインターネット、データベースを利用し、講義テーマに関連する情報を検索できるよう常に心がけること。